

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22001	事業名	都市マスタープラン等策定事業		評価分類	B1		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()							
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成				款	08:土木費	
		施策の方向	01:計画的な土地利用の推進				項	04:都市計画費	
重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目	01:都市計画総務費				
事業期間	R 5 年度 ~ R 8 年度	主な根拠法令等	都市計画法、亀山市都市マスタープラン、特措法						

担当部署	
部	建設部
課	都市整備課 都市計画G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	都市マスタープラン及び立地適正化計画が見直し時期を迎えるとともに、令和8年度には第3次総合計画がスタートすることが見込まれる。持続可能な都市づくりに向け、新たな課題等に対応した方針を定めていく必要がある。	全市	総合計画に掲げる基本構想を踏まえ、都市づくりの基本理念や土地利用及び都市施設の整備に関する基本方針を明らかにする。	本市の抱える都市形成上の課題等を調査・検討するとともに、第3次総合計画の策定と連携・調整を図りながら、都市づくりの方針決定を行い、亀山市都市マスタープラン及び立地適正化計画を策定する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○都市防災リスク検討	○都市計画現況調査 ○都市誘導効果検証	○都市マスタープラン検討 ○立地適正化計画検討		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しに必要となる防災リスクの基礎調査を実施し、災害のリスクが高い地区の抽出・課題整理及び取組方針案を作成した。	都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しに必要な都市計画の現況や都市誘導効果を把握するため、都市計画基礎調査及び立地適正化計画の評価・検証を実施した。			
計画額	事業費	事業費	7,000千円	3,410千円	9,000千円	7,900千円	8,700千円
		国・県支出金		0千円		0千円	1,500千円
		地方債		0千円		0千円	
		その他		0千円		0千円	
		一般財源		7,000千円	3,410千円	9,000千円	7,900千円
決算額	事業費	事業費		3,410千円	7,425千円		
		国・県支出金		0千円	0千円		
		地方債		0千円	0千円		
		その他		0千円	0千円		
		一般財源		3,410千円	7,425千円		
①期間内計画額(R4-7)		24,700千円	②期間外計画額(R8-)	7,200千円	①+②総計画額	31,900千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	7,900千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 各種調査等の進捗	計画策定に必要な調査の実施状況	活動		計画値		防災リスク調査	誘導効果検証	
				実績値		防災リスク調査	誘導効果検証	
計画策定の進捗	都市マスタープラン及び立地適正化計画の策定状況	活動		計画値				策定方針決定
				実績値				
				計画値				
				実績値				

判定	評価理由
A	都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しに必要な都市計画の現況や都市誘導効果を把握するため、都市計画基礎調査及び立地適正化計画の評価・検証を実施し、計画見直しに向けた基礎資料の整理を行うことができた。
計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
全市	総合計画に掲げる基本構想を踏まえ、都市づくりの基本理念や土地利用及び都市施設の整備に関する基本方針を明らかにする。

(再掲)

事業の進捗度合を踏まえた課題事項
⑥ 令和7年度に策定される第3次総合計画基本構想における都市空間形成方針の具現化を図るとともに、都市計画基礎調査や立地適正化計画の評価・検証により抽出された課題の解消に向け、都市マスタープランの策定及び立地適正化計画の改定を行う必要がある。

方向性	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 都市計画基礎調査及び立地適正化計画の評価・検証結果や令和7年度に実施する計画の策定等に向けた市民アンケート調査及び関係団体ヒアリング等の内容を踏まえて計画検討を進める。	令和8年度以降で対応するもの 市民ワークショップ、市議会、都市計画審議会、パブリックコメント等の意見を踏まえ、次期都市マスタープランの策定及び立地適正化計画の改定を行う。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		A	A	
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	

【履歴】

1次評価者	建設部 都市整備課 都市計画GL 加藤 洋輔
最終評価者	建設部 都市整備課長 橋本 了